

趣 旨： 2016 年 12 月に糸魚川市大規模火災、2017 年 2 月には埼玉県三芳町で大型物流倉庫火災が発生しました。また、2017 年 6 月にロンドンの高層住宅で建物全体が炎上する火災が発生しました。本シンポジウムでは、これらの火災を教訓とした対応の現状を紹介し、よりレジリエントな建物やまちの実現に向けて、今後取り組むべき課題について考えます。

日 時： 2018 年 12 月 13 日（木）13:30～17:00 （受付は 13:00 から）

会 場： 政策研究大学院大学 1 階想海樓ホール（定員 300 名）

言 語： 日本語／英語（同時通訳）

主 催： 国立大学法人政策研究大学院大学、国立研究開発法人建築研究所

後 援： 国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人住宅金融支援機構、独立行政法人都市再生機構、一般社団法人カーテンウォール・防火開口部協会、一般社団法人建築性能基準推進協会、建築研究開発コンソーシアム、一般社団法人建築設備技術者協会、一般社団法人地域安全学会、公益社団法人日本火災学会、一般社団法人日本建設業連合会、公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本建築士会連合会、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、一般財団法人日本建築防災協会、一般社団法人日本シャッター・ドア協会、防災学術連携体、一般社団法人リビングアメニティ協会、公益社団法人ロングライフビル推進協会

プログラム：

司会：春原浩樹（政策研究大学院大学 教授）

13:30-13:40 主旨説明：林吉彦（建築研究所 防火研究グループ長）

13:40-15:00 第 1 部 大規模火災を踏まえた建築物・市街地の安全性向上

モデレーター：河野守（東京理科大学 教授）

岩見達也（建築研究所 住宅・都市研究グループ 主任研究員）

「糸魚川市大規模火災の教訓と対応」

水上点晴（国土技術政策総合研究所 防火基準研究室 主任研究官）

「大型物流倉庫火災の教訓と対応」

深井敦夫（国土交通省 住宅局建築指導課建築物防災対策室長）

「防火分野の建築基準整備の最近の状況」

Q&A 及びまとめ

休憩

15:10-16:50 第 2 部 レジリエントな建築・都市の実現に向けて

モデレーター：河野守（東京理科大学 教授）

ポール・エバロール（英国地方自治体建築規制協会 専務理事）

「ロンドン高層住宅火災を踏まえた建築基準や建築規制システムの見直し」

長谷見雄二（早稲田大学 教授）

「新たな火災安全のしくみ～膠着を打破する発想の転換」

Q&A 及びまとめ

17:00 閉会

政策研究大学院大学案内図
東京都港区六本木 7-22-1

入場無料（事前登録制）

氏名、所属を明記の上、できるだけ 2018 年 12 月 10 日（月）までにご連絡下さい。

定員になり次第申込を締切らせていただきますのでご了承下さい。

申込先：一般社団法人 建築・住宅国際機構【事務局】

(E-mail: grips2018@iubh.org)

※建築 CPD 情報提供制度認定プログラム（3 単位）

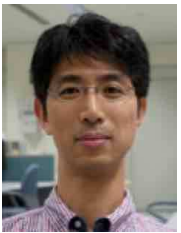


モデレーター・講演者プロフィール



河野 守（東京理科大学 教授）

工学士、工学修士 京都大学、工学博士 名古屋大学。1982 年から 2001 年まで名古屋大学助手・講師・助教授として建築構造物の信頼性解析・設計研究の研究、その後現在まで建築研究所・国土技術政策総合研究所等で防火基準の性能規定化、地震後火災に対する共同住宅の防災性に関して研究、2009 年から現職。



岩見達也（建築研究所 住宅・都市研究グループ 主任研究員）

1997 年神戸大学において修士（工学）を取得した。これまでに建築研究所及び国土技術政策総合研究所において市街地火災のモデリング・リスク評価に関する研究を行っている。現在、建築研究所住宅・都市研究グループ主任研究員。



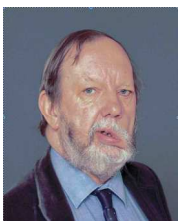
水上点晴（国土技術政策総合研究所 建築研究部 主任研究官）

2012 年 京都大学大学院 博士課程修了。
試験評価機関で防耐火性能の性能規定化に関する研究に従事した後、現職となつてからは、確率統計論的手法を用いたリスク基盤の火災安全設計に関する研究および 2016 年の糸魚川市街地火災等の火災調査を通じて防火基準の改訂に従事している。



深井敦夫（国土交通省住宅局 建築物防災対策室長）

1990 年 建設省採用。
建設省、国土交通省、地方公共団体等で主に住宅・建築行政に従事。
2016 年 住宅局建築指導課昇降機等事故調査室長
2017 年から現職。



ポール・エバロール（英国地方自治体建築規制協会 専務理事）

大英帝国三等勲爵士、ケンブリッジ大学修士、公認エンジニア。建築規制責任を持つイングランドとウェールズの地方自治体のすべてを代表する組織である LABC（英国地方自治体建築規制協会）において 2005 年から CEO を務めている。それ以前は、1991 年から 2005 年の間は英国政府の建築規制責任者、1981 年からは上級公務員を務めていた。



長谷見雄二（早稲田大学 教授）

1973 年早稲田大学建築学科卒業、1975 年早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了、建設省建築研究所研究員・防火研究室長を経て 1997 年より早稲田大学教授。工学博士。火災を中心に現代社会の災害危険軽減の基盤研究を行なっている。1987 年度日本建築学会賞（論文）、1988 年 P. H. Thomas Medal（国際火災安全科学学会）、1999 年 H.W. Emmons Award（同）、2017 年消防行政特別功労賞他。